

デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド <愛称:ゼロ・コンタクト>

設定日：2020年7月31日 償還日：無期限 決算日：原則、毎年6月7日
 収益分配：決算日毎 基準価額：13,072円 純資産総額：2,028.12億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

<基準価額の推移グラフ>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<資産構成比>

株式	97.8%
うち先物	0.0%
現金その他	2.2%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	14,439円
要 株式	-1,531円
為替など	183円
因 分配金・その他	-19円
当月末基準価額	13,072円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

<分配金実績（税引前）>

21・6・7	22・6・7	23・6・7	24・6・7	25・6・9
0円	0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-9.47%	-16.24%	-15.92%	13.51%	145.62%	30.72%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものにご留意ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ポートフォリオの内容 ※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

＜通貨別組入上位10通貨＞

通貨	比率
アメリカドル	97.2%
ユーロ	1.0%
日本円	0.4%

＜国・地域別組入上位10カ国＞

国・地域名	比率
アメリカ	78.0%
カナダ	8.0%
台湾	4.1%
中国	2.2%
ルクセンブルク	2.0%
ケイマン諸島	1.7%
イギリス	1.3%
オランダ	1.0%
日本	0.4%

＜業種別組入上位10業種＞

業種	比率
ソフトウェア・サービス	33.8%
メディア・娯楽	24.5%
金融サービス	16.6%
半導体・半導体製造装置	12.2%
消費者サービス	5.1%
一般消費財・サービス流通	4.9%
テクノロジー・ハードウェア	1.5%

＜組入上位10銘柄＞（銘柄数：41銘柄）

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	SHOPIFY INC - CLASS A	アメリカドル	カナダ	ソフトウェア・サービス	8.0%
2	ROBINHOOD MARKETS INC - A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	6.4%
3	ROBLOX CORP -CLASS A	アメリカドル	アメリカ	メディア・娯楽	5.5%
4	ROKU INC	アメリカドル	アメリカ	メディア・娯楽	5.1%
5	PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	アメリカドル	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.0%
6	ADVANCED MICRO DEVICES	アメリカドル	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.8%
7	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	アメリカドル	台湾	半導体・半導体製造装置	4.1%
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	アメリカ	メディア・娯楽	3.9%
9	CIRCLE INTERNET GROUP INC	アメリカドル	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.5%
10	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	3.5%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※国・地域名はアモーヴァ・アセットマネジメントが信頼できると判断したデータに基づき、主として、各銘柄の本社所在地を表示しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
 ※ファンドにおける各銘柄の保有比率は、投資行動だけではなく当該銘柄の株価変動等によっても変化するため、買い増しや一部売却をした場合に、当該銘柄の保有比率の変動の方向性が一致しない場合があります。例えば、買い増した銘柄の保有比率が前月末と比較して低下している場合や、一部売却した銘柄の保有比率が前月末と比較して上昇している場合があります。

◎市場環境

2月の主要株式市場は、欧州中央銀行（ECB）による緩和的金融環境が継続するとの見方や、日本の政治的安定と追加的な財政支援への期待が高まったことなどから、欧州やアジアの株式市場が牽引役となり、小幅に上昇しました。為替市場では、円相場は対ドルで円安ドル高となり、円ベースでは、より大きな上昇となりました。セクター別では、公益、生活必需品、エネルギーなどのセクターが相対的に好調となる一方、コミュニケーション・サービス、一般消費財・サービス、情報技術などのセクターは出遅れました。

当ファンドでは、破壊的イノベーション株式は単に回復しているだけでなく、再評価されている段階にあると考えています。暗号資産、人工知能（AI）、医療分野などにおける政策変更や、予算調整措置法案における減価償却軽減措置などの財政措置に支えられ、構造的な追い風が形成されつつあり、これらは米国の競争力を高め、外国投資を誘致する可能性があります。米国のトランプ大統領の成長重視政策、そしてAI、ロボット工学、エネルギー貯蔵、マルチオミクスにおける画期的な進歩と相まって、これらの力は生産性とイノベーション主導の成長の新たな波を引き起こす可能性があります。

◎運用概況

当月の基準価額は、前月末比で下落しました。

個別銘柄では、良好な四半期決算発表後に株価が上昇したサークル・インターネット・グループ（ソフトウェア・サービス）が、プラス寄与上位となりました。USDC（米ドルに連動するステーブルコイン）の流通取引高やオンチェーン取引高（ブロックチェーン上での取引高）の拡大により、準備金収益の増加やUSDCの実用性向上を実現しました。AI（人工知能）エージェントにおけるUSDCの採用拡大や、ステーブルコインの送金額の拡大なども追い風になりました。台湾積体回路製造（半導体・半導体製造装置）は、大手テクノロジー企業からの大規模な半導体チップ注文や、ハイパースケーラーによるAIインフラへの支出が見込まれることから、地政学的リスクが続く環境下でも同社のウェハー需要は一段と押し上げられ、株価は好調に推移しました。Figma（ソフトウェア・サービス）は、四半期決算が前年同期比での増収を受けて市場予想を上回ったことや、戦略的提携の発表が好感され、株価が上昇しました。しかし、SaaSビジネスがAIによって阻害されるとの懸念が続いていることから、ポジティブなセンチメントはやや後退しました。当ファンドでは、同社のプラットフォームの優位性や協業性、AIエージェントとの密接な連携から、そのような懸念には及ばないと考えています。Bullish（金融サービス）も、好調な四半期決算が好感されました。調整後売上高が過去最高を記録し、EBITDAマージンも大きく拡大したほか、市場のボラティリティ（変動性）が高い環境下でも、同社が提供する取引所やオプション事業は成長しました。また、機関投資家による採用拡大や米国での豊富な顧客パイプラインなどを背景に、長期的な成長軌道に対する同社の自信が裏付けられています。

一方、ユニティ・ソフトウェア（ソフトウェア・サービス）は、四半期決算で前年同期比の増収率が市場予想を上回ったものの、経営陣の示した業績ガイダンスが市場予想を下回り、当面の需要や広告収益化における競争激化への懸念が強まったことから、株価は急落してマイナスに寄与しました。ロビンフッド・マーケット（金融サービス）は、純収益が前年同期比で好調な伸びを示すなど堅調な四半期決算を発表しましたが、暗号資産の全般的な下落に連れ安となりました。アドバンスト・マイクロ・デバイゼス（半導体・半導体製造装置）は、四半期決算においてデータセンターおよびゲーム分野などの事業セグメントが前年同期比で増収となるなど良好な結果となりましたが、株価は下落しました。2026年第3四半期までにラックスケール・ソリューションを出荷する計画は引き続き順調に進んでいるものの、データセンター向けAI分野における投資がより明確な成果としてあらわれるまでは、投資家の慎重姿勢が続くとみられます。ショッピファイ（ソフトウェア・サービス）は、四半期決算において流通取引総額（GMV）や売上高が前年同期比で増加して市場予想を上回ったものの、SaaS銘柄の全般的な下落が株価の重石となりました。パランティア・テクノロジーズ（ソフトウェア・サービス）は、決算発表で売上高成長の加速が続いていることやソフトウェア企業の健全性を示す指標で高スコアが示されたにもかかわらず、株価バリュエーションへの懸念が根強いことなどを背景に株価は下落しました。

当月の投資行動としては、4銘柄の保有を解消しました。グローバルEオンライン（一般消費財・サービス流通・小売）は、同社が米ECプラットフォームの独占プロバイダーから優先パートナーへと変更されたことを受けて、提携の強固さを主要な材料としていた当ファンドでの投資の前提条件が変わったため、ポジションを解消しました。エージェンティック・コマースの急速な動きを考えると、他のフィンテック銘柄への魅力的な投資機会を見出すことができると考えています。ページャーデューティー（ソフトウェア・サービス）は、データ・モート（データにおける競争優位性）や製品力によってAIの普及から恩恵を受けやすい有利な立場にありますが、より大手の顧客やユーザー単位課金と従量課金の混合型料金モデルを追求するなか、戦略実行力の問題で苦戦しています。こうした逆風材料を踏まえ、より確信度が高くAIの追い風を早く受けやすい銘柄へと投資資金を再配分しました。最近の市場下落局面では暗号資産関連銘柄が過度に売込まれていますが、オンチェーン活動（ブロックチェーン上の活動）は比較的堅調です。対照的に、ペイパル・ホールディングス（金融サービス）のオンチェーン取引は同社発行の米ドル連動型ステーブルコインを中心に低迷しており、中核である決済事業への戦略的回帰が進むとみられます。この見方は、直近の決算発表において暗号資産への言及が最小限で実質的内容を伴わないものにとどまったことでも裏付けられています。このような方向転換を受けて、ファンダメンタルズがより強固な暗号資産銘柄に投資資金を配分するため、同社の保有を解消して確信度の高い投資機会へと資金を振り向けました。ザ・トレードデスク（メディア・娯楽）については、より確信度の高い広告プラットフォーム銘柄へとポジションを集約すべく、組み入れを解消しました。広告主は、在庫がオープンインターネット（分散型の開かれたWeb環境）から来るのか、ワールドガーデン（大手プラットフォームが自社サービス内でのユーザー囲い込みを図る独自の環境）やファーストパーティーデータ（企業が自社で収集・保有している顧客データ）から来るのかよりも、広告支出の費用対効果の高さに基づいて支出を配分すると考えられます。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
※ファンドにおける各銘柄の保有比率は、投資行動だけではなく当該銘柄の株価変動等によっても変化するため、買い増しや一部売却をした場合に、当該銘柄の保有比率の変動の方向性が一致しない場合があります。例えば、買い増した銘柄の保有比率が前月末と比較して低下している場合や、一部売却した銘柄の保有比率が前月末と比較して上昇している場合があります。

◎今後の見通し

世界経済はオフラインからオンラインへ、対面からデジタルへと移行しつつあります。娯楽と仕事の両面において成長を牽引するのは、「ゼロ・コンタクト（非接触型）」やフリクションレス（手間やストレスがない状態）であるとみています。この長期的なトレンドはモバイル・インターネットから始まり、新型コロナウイルスが世界で流行する間に加速し、消費者や企業の行動様式を恒久的に変化させたと考えています。

世界の大手企業2,000社にとって、最も緊急性の高い取り組みはDX（デジタル・トランスフォーメーション）、つまりクラウドやモバイル・コンピューティングをベースにデジタルによる業務フローを活用してビジネスを再構築することです。テクノロジーは、手作業を自動化することで農業や製造業をすでに大きく変化させており、長期的な生産性の向上をもたらしています。

当ファンドでは、今後数十年の間にクラウド・コンピューティングや人工知能（AI）のようなテクノロジーによって、データ収集、分析、営業およびマーケティング、顧客サービスなどその他の頭脳労働が自動化されるとみています。AIを活用したクラウドインフラを用いることで、企業のソフトウェア支出は、2019年から2024年までの18%から、2030年までに33%に加速すると予想しています。AI開発を加速させるプラットフォーム・アズ・ア・サービス（PaaS）の提供が、最も急速な成長をみせるカテゴリーになるとみられます。全体では、ソフトウェアへの支出は2024年の約1兆2,500億ドルから2030年までに約7兆ドルに拡大すると予想しています。

また、ストリーミングによって、消費者はビデオ、オーディオ、ゲームの膨大なコンテンツ・ライブラリーにアクセスできます。ストリーミングはコンテンツ配信における主要なテクノロジーになり、視聴習慣の新しい形態になると考えています。ユーザーはオンデマンドのエンターテインメントをあらゆる形態で視聴することを期待しています。世界のストリーミングの売上は、2024年の推定1,368億ドルから2030年までに2,907億ドルになるとみられ、今後5年間で大きく拡大すると予想しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※記載の内容は、アーク社等による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

<組入上位10銘柄の銘柄概要>

1 SHOPIFY INC - CLASS A / ショッピングファイ	オンラインサービス
ショッピングファイは、eコマース会社で、カナダ、米国、英国、オーストラリアなど各国の中小事業者に対してクラウドベースのマルチチャネル・プラットフォームを提供している。同社プラットフォームは、販社および顧客に対して、様々な販売チャネルでの商品販売・購入を可能にする。	
2 ROBINHOOD MARKETS INC - A / ロビンフッド・マーケット	遠隔提供サービス
アプリベースのオンライン証券会社で、投資家が無料で株式や暗号資産の取引を行うことができる。個人投資家にとって革新的なサービスであり、高いブランド力を構築し、新たな顧客を速いペースで獲得している。顧客基盤をもとに、暗号資産など新たな金融商品を販売することが可能である。	
3 ROBLOX CORP -CLASS A / ロブロック	オンラインサービス
同社が運営するオンライン・プラットフォームでは、ユーザーが、様々な仮想空間に入り、個人が開発し配信したゲームでプレイすることができる。個人向けのデジタル・エンターテインメントにおいてリーダー的存在で、ゲーム内での購入などの魅力的な収入機会などから、今後も成長が期待される。	
4 ROKU INC / ロク	ストリーミングメディア
家庭用ビデオストリーミング端末やテレビのプラットフォームとなるオペレーティングシステム (OS) を提供する。同社のビデオストリーミング用機器の設置数は最大級であり、テレビ視聴のスタイルがケーブルテレビからストリーミングへシフトする中で、大きな成長が期待される。	
5 PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A / パランティア・テクノロジー	遠隔提供サービス
情報分析ソフトウェアを開発するソフトウェア開発会社で世界各地で事業を展開。政府機関や大企業向けにデータ統合とアナリティクスを提供。	
6 ADVANCED MICRO DEVICES / アドバンス・マイクロ・デバイゼス	遠隔提供サービス
半導体メーカー。企業および個人向けに、マイクロプロセッサ、埋め込みマイクロプロセッサ、チップセット、グラフィクス、動画、マルチメディア製品および関連技術の提供を行う。	
7 TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR / 台湾セミコンダクター	遠隔提供サービス
コンピューターや自動車など向けの半導体メーカー。ムーアの法則が限界に近づく中で最新工場を建設できる規模と技術力を持つ企業は限られます。また、CPUの性能以外では、カスタマイズとASIC (特定用途向け半導体) の設計が重要な差別化ポイントです。同社は、世界最大級かつ最先端の受託製造工場を持ち、こうした潮流の恩恵を受けると考えられる。	
8 ALPHABET INC-CL C / アルファベット	ストリーミングメディア
アルファベットはGoogleサービス (検索、Android、Chrome、YouTube)、Google Cloud、およびAlphabet DeepMindを運営。検索をマルチモーダルで生成AIに支援された発見のプラットフォームへと変革。原動力はGemini、AIネイティブな検索モダリティの拡大、エージェント機能。	
9 CIRCLE INTERNET GROUP INC / サークル・インターネット・グループ	非接触型決済
金融テクノロジーソリューション企業。完全に準備金で裏付けられた米ドル連動型ステーブルコイン「USD Coin (USDC)」の主要な発行体。ブロックチェーン技術を活用したシームレスな資金移動インフラを提供し、企業、開発者、金融機関が信頼性の高いデジタルドル基盤上で、取引、決済、アプリケーション構築を行う環境を提供。	
10 COINBASE GLOBAL INC -CLASS A / コインベース・グローバル	非接触型決済
暗号資産の規制企業で2012年に設立。最も信頼される暗号資産取引所の1つである。同社は暗号資産に関連する各種サービスを提供していることから、市場の拡大と連動して成長することができると見られる。	

<投資カテゴリー別比率>

投資カテゴリー	比率
非接触型決済	26.5%
遠隔提供サービス	24.3%
オンラインサービス	22.9%
ストリーミングメディア	15.5%
リモートワーク	10.8%

※「投資カテゴリー」はアーク社が考える分類です。

<規模別構成比率>

時価総額	比率
超大型株 (500億米ドル以上)	56.7%
大型株 (100億米ドル以上500億米ドル未満)	33.8%
中型株 (20億米ドル以上100億米ドル未満)	6.9%
小型株 (20億米ドル未満)	2.6%

投資信託は、値動きのある資産 (外貨建資産は為替変動リスクもあります。) を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ご参考情報

MSCI-WORLDインデックス
(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)

※上記グラフの指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※MSCI-WORLDインデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

※上記グラフは、当ファンドの設定時を100として作成日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ファンドの特色

1 主に、世界の上市株式の中から、ゼロ・コンタクト・ビジネスを行なう企業の株式などに投資を行ないます。

- 今後の成長が期待される、ゼロ・コンタクト・ビジネス(非接触型ビジネス)関連企業の株式(預託証券を含みます。)を中心に投資を行なうことにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からの助言をもとに、アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインクがポートフォリオを構築します。

3 年1回、決算を行ないます。

- 毎年6月7日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の拡がりを後押しする「ゼロ・コンタクト」

DXは、「ITの浸透により、人々の生活をあらゆる面でより良く変革させる」として、2000年初頭に提唱され始めた概念です。DXの中でも、人との接触を避ける、いわゆる非接触(ゼロ・コンタクト)ニーズ*が高まりつつあることなどから、「ゼロ・コンタクト」を当ファンドの愛称としています。

*リモートワークやオンラインショッピング、オンライン診療など

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2020年7月31日設定）
決算日	毎年6月7日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%（税抜3%）以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>	
運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率1.7985%（税抜1.635%）</u>
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.amova-am.com 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
- ・上海や深センのストックコネクト（株式相互取引制度）を通じた中国A株への投資においては、取引可能な銘柄が限定されていることに加えて、投資枠や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、ストックコネクト特有の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる可能性があります。さらに、ストックコネクトにおける取引通貨はオフショア人民元となり、QFII制度の取引通貨である中国本土のオンショア人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。こうした要因から、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド（愛称：ゼロ・コンタクト）」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目録見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社あいち銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第12号	○		○	
株式会社青森みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第1号	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第15号	○	○	○	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○
株式会社S B I証券 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○		○	○
株式会社S B I新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社S B I証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○		○	
F F G証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商) 第5号	○			○
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第3号	○		○	
O K B証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第191号	○			
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第19号	○			
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第7号	○			
株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州F G証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第55号	○			
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第117号	○		○	
岐阜信用金庫	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第35号	○			
九州F G証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長 (金商) 第18号	○			
京銀証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第392号	○			
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第10号	○		○	
株式会社京都銀行 (委託金融商品取引業者 京銀証券株式会社)	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第10号	○		○	
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第53号	○		○	
株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第53号	○		○	
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3198号	○			
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第15号	○			
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第25号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2938号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第46号	○		○	
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第56号	○			
埼玉信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第202号	○			
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第16号	○			
J Tラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第35号	○	○		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第11号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長 (金商) 第37号	○			
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第6号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第7号	○		○	
城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第147号	○			
株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第45号	○		○	
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第47号	○		○	
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第128号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第17号	○			
大和証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第108号	○	○	○	○
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第39号	○		○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商) 第6号	○			○
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第579号	○		○	
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第8号	○			
株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第10号	○			
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第11号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第1号	○			
長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第256号	○			
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第25号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○	○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第21号	○	○		
株式会社八十二長野銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第49号	○		○	
株式会社八十二長野銀行 (委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第49号	○		○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1977号	○			
株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州F G証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第134号	○			
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第81号	○			
平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第196号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商) 第20号	○			
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第5号	○		○	
福井信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第32号	○			
P a y P a y銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第624号	○		○	
P a y P a y証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2883号	○			

投資信託説明書(交付目録見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第54号	○		○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第649号	○	○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第5号	○			
m o o m o o 証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3335号	○	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第105号	○			○
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1771号	○			
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第12号	○		○	
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第6号	○		○	
大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第88号	○			
株式会社U I 銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社) (オンラインサービス専用)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第673号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商) 第8号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。